

2020年6月5日

〒107-8420 東京都港区赤坂1丁目10-5

アメリカ合衆国大使館

ジョセフ・M・ヤング駐日米国臨時代理大使 さま

私たちは部落差別問題の解決と人権擁護に取り組む団体です。

ミネソタ州ミネアポリスで白人警官が無抵抗のアフリカ系住民を倒し、首に膝をかけ死亡させた事件（5月25日）に大変な衝撃を受けました。同時に追訴された現場に居た4名の警官に激しい憤りを感じています。

これまでも白人警官によるアフリカ系住民への過剰な暴力が社会問題化しながら、同様の事件が後を絶たないことに、全米をはじめ欧州でも憤激が巻き起こっています。しかしこの事態にトランプ大統領はツイッター上に、「略奪が始まれば射撃が始まる」とコメントし、被害者に対し追悼の言葉もなく、抗議行動を軍隊の力で制圧しようとしています。

トランプ大統領に対し「人種差別の憎悪と暴力に油を注いでいる」（マーキー民主党上院議員）など厳しい批判が米国内外で噴出しています。

抗議行動に対し軍隊の出動を止めてください。

警官に対する人権教育の徹底を求めます。

さらにコロナウイルスの問題では、感染者と10万を超える死者数の多くは黒人です（白人の2.5倍）。シカゴでは住民の3割の黒人が、死者の7割を占めています。公的健康保険制度整備や人種的格差と貧困の緩和、人種差別問題を解消する具体的な手立てが必要です。

格差を異常なレベルにまで拡大させてきた新自由主義政策の矛盾がコロナ禍でいっそう顕在化する中、誰もが健康で安心して暮らせる社会を実現する上で、大企業の金もうけを至上のものとする社会でよいのか、世界全体に突き付けられた課題です。

ジョセフ・M・ヤング駐日米国臨時代理大使 さま

トランプ大統領に、平和的抗議行動を敵視せず、対話と連帯で解決に向かわれるよう伝えて下さい。

敬具
全国地域人権運動総連合
常任幹事会